

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 031	提案機関名 農業技術センター 三浦半島地区事務所
要望問題名 ダイコン黒斑細菌病の防除について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 平成23年度産、平成24年度産の春ダイコン(3月収穫)において、黒斑細菌病が多発し対策の検討が急務となっている。現地では、生育初期の銅剤による予防散布が効果的であることや、肥料切れ(特に窒素成分)したほ場での発生が目立つことが、経験的に知られている。 そこで、的確な予防剤や散布時期について明らかにするとともに、窒素施用量と黒斑細菌病罹病の関係について究明をお願いしたい。 ダイコン作付面積 三浦市719ha 横須賀市21ha(平成22年度野菜生産出荷統計)	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター 三浦半島地区事務所	担当部所	研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	病害虫防除・予察技術の開発及び改善 病害虫の診断同定及び発生生態の解明に基づく予察・防除技術の確立		
対応の内容等	現在、上記課題の中で本病害とエンバク褐斑細菌病菌の関係について調査中です。本病原菌の発生確認や菌の分離のため、現地での本病の確認調査等にご協力をいただく中で、本病害の防除対策についても普及指導課と協力して試験を実施したいと考えます。具体的には今春にアブラナ科で黒斑細菌病が多発した所内試験圃場において、初期防除と追肥による対策試験を実施する計画ですので、品種の選定や防除や追肥のタイミング等の試験設計について普及指導課のご協力をお願いいたします。また、普及指導課の行う現地における防除試験にも同行し協力いたします。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			